

フィギュアスケーターにとって“魅せる”こととは ～美意識をキーワードに～

後藤 杏奈 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

担当教員 吉倉 秀和

キーワード：美意識、内的要因、外的要因

1. 緒言

踊りやパフォーマンスは観客に向けて披露される点で「見られること」が前提となっている(中川,2001)ことからフィギュアスケーターはパフォーマンスを通して美しさを表現し、衆人環境に立っても実力を発揮することが必要であると言える。見た目の美しさだけでなく、技術の美しさである「踊り」「スケーティング」などもフィギュアスケートにおける美しさに含まれ、これらが“魅せる”演技へと繋がる。

本研究では“魅せる”演技を作るため生まれた美意識について内的要因と外的要因に分類し、それらが競技力向上やモチベーションに影響を与えているのかを明らかにする。また、競技を通して生まれた美意識が日常生活の美意識にも影響を及ぼしているのかを考察することを目的とする。

2. 研究方法

関西圏内の10代から20代の現役女子フィギュアスケーター6名を対象とし、基本属性、競技歴、競技イメージ、練習環境、理想、競技面及び私生活における美に対する意識に関してインタビューによる聞き取り調査を行った。

3. 結果と考察

内的要因を「衣装」「客観的視点」「演技」「見た目」「スタイル維持」「私服」「筋肉美」、外的要因を「社会的イメージ」「ジャッジの評価」「観客からの応援」「生活環境からの影

響」と分類した。競技レベルが高いほど、試合での観客数や応援してくれているファンが多いため、“魅せる”意識が高く、私生活においても美意識を持つことで競技にも美しさが表れると考えているとわかった。フィギュアスケーターにとって「魅せる」こととは、自分らしさを氷上のパフォーマンスの中で表すことであるとわかり、そこには、技術の美しさ、外見の美しさ、私生活での美しさなどが含まれ、常に美しさを競うスポーツの競技者である意識を持つことが重要であるとする。

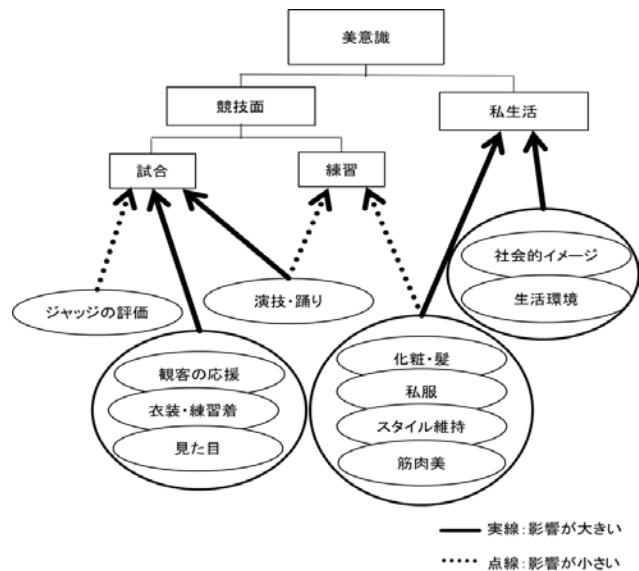


図1 美意識に影響を与える要因

4. 引用参考文献

中川敏子 (2001) 女子フィギュアスケートにおける美的要素の社会的考察:女子フィギュアにおける美しさの定義. 人間社会研究科, 7, 179 - 187